

# 文部省通達

要領秘  
68. 7/19

文学部大争番  
事務局

# 万全の夏休み斗争体制を至急構築せよ

文学部地東ストライキのみが惹起  
本学毎々幾度か10日以前に構想した

大塙封鎖、全学ストの実現が正確に  
断たれてゐる今、我々の6・20決定白

紙撤回の如きは困難な局面を迎えて

いる。我々は10日全学総決起集会に  
おいて、明確に、学校当局との対決、  
戦を能動的に創出して、いく方向で方  
いを進める」とを決定し、教育、農

教育長、三輪光雄、新学長等に対し  
て采取の大衆行動を展開していった。

この基本方針が夏休みのヨリにおいて  
貢献することは当然であるが、  
そこでおじて、そのヨリを支えるべ  
き力量の確保がかかるれば、ならな  
いこと、又当然である。

・我々と学校当局との緊張関係を断  
固保持する為に、

- ・学校当局との長期のヨリを保證し、  
バーバードを断固死守する為に、  
門口斗争において、事ム局より、  
大のような提案を行つた。各クラス  
における懲罰もしくは、この提案の  
実現化の作業を至急、展開すること。  
前記の目的の為、二種の体制をと  
る。

- ・泊り込み体制 ピカ、夜警等  
・緊急動員体制(登校体制となるべ  
く兼ねるようとする)

(1) 泊り込み<sup>常時</sup>名の原則とし  
て事ム局は別しを確保。  
各クラスで泊り込み班を適宜六  
班編成し、一班ずつ、一箇月連続  
で泊り込んでゆく。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥  
28日～8月3日  
4日～10日  
11日～17日  
18日～24日  
25日

～27日  
人教のへ最低割り  
当こについこは、17  
日大体次のようにな  
った。

独 仏 言 法 社 地

哲 偏 日 田 東 西 國 漢 英 米

(2) 緊急動員体制 近りひみく数に加  
えて五〇～一〇〇を必ず確保して  
おかねがならないので、各クラス  
で一週間毎の在京者の固定数を至  
急端べて、事ム局に集中すること。

その他、休み中二回面接登校日々8、  
日、毎日、毎日、必ず最も活動的、  
体制構築の為、三連休にて毎日一日に  
て事ム局まで集中せよ。

又、登校開始日の翌日、絶対嚴  
密に集中せよ。

内

ノアホウルム日本

は最後まで必ず  
う体制を堅持せ

事ム局員全員のみ日、一  
制を堅持する。各部局において  
ては、最低責任者一人を常駐  
させるよう、ローテーション  
を組むこと。

事ム局員全員のみ日、一  
制を堅持する。各部局において  
ては、最低責任者一人を常駐  
させるよう、ローテーション  
を組むこと。

あらゆる斗争  
破壊策動を粉  
砕し、ババリ  
ドを死守せよ

と二組もう!

各クラスは主張的  
に「キャンパ活動に

フランダガサム中で、敗戦状態  
はさりめて悪化している。その打撃  
の為に、これまで二日駄頭カンパを行  
つて来た。今後、それを恒常的に  
行つていくため、ピカに準備して、力

本日100%全員総会で全員結集せよ、G.W.